

CASE 6

デジタル診療の革新 口腔内スキャナーがもたらす収益向上の具体策

井手口歯科医院（業種：医療・福祉）

所在地：香川県高松市中野町1-32 電話：087-835-6688 URL：<https://www.ideguchi-dental-clin.com>

会社概要

- 井手口歯科医院は高松市中野町で1991年に開業した歯科医院である。医院の理念として、科学的な根拠に基づいた治療を実践することで、患者一人ひとりに寄り添った質の高い歯科医療を提供することを掲げている。さらに、歯科医療を通して地域社会に求められる医療人の育成を目指している。
- 2024年の医院改装を機に、様々な最新医療機器を導入することで、患者の多様なニーズに対応するとともに、より高度な口腔の衛生管理と機能回復を実現し、患者の健康維持・向上に努めている。

補助金を活用した取組内容

- 歯科治療において、かぶせものの作製には印象探得（いわゆる型取りの作業）が必須である。これまで、粘土のような材料を長時間口腔内に入れて硬化させることで印象探得を行なっていた。
- しかし、口腔内スキャナーを使用することによって、印象探得からかぶせものの作製に至るほぼ全ての工程をデジタル化することが可能となる。さらに、治療の精度の向上・患者の苦痛の軽減・診療時間の短縮・材料費の減少などのメリットをもたらし、診療の効率化と質の向上を図ることができる。

導入した設備等の概要

口腔内スキャナー



導入前・課題等

- 従来の作業では、硬化した印象材に石膏を流し込み模型を作製する過程が必要である。その工程は、患者と医療従事者の両者にとって手間がかかり、負担が非常に大きい。また、印象探得に伴う多量の医療廃棄物（硬化した印象材、石膏模型）やコストも生じる。
- 長期にわたって治療が必要な患者においては、複数回の印象探得が必要となることも多く、診療の効率を下げる要因の一つとなっている。

患者の負担や
診療効率の改善が課題

補助金の活用にあたっての参考ポイント

- 近年、歯科医療におけるデジタル技術を取り入れた診療機器が発展している。そのような機器は非常に有用である一方で、高額なものが多く、導入へのハードルは高い。
- 当院では、改装をサポートしてくれた関係機関の助言をいただき、機器の選定・導入を円滑に実現することができた。

将来の成長に向けた展望・意気込み

- 今回、補助金を活用して口腔内スキャナーを導入することで、医療面・経営面ともに、当初に期待していた以上の効果が得られた。
- 今後も、デジタルを上手に取り入れた医院体制を構築することで、歯科医療における問題点を改善していきたい。

導入後・改善・効果等

診療の質が向上！

- 口腔内スキャナーを導入することで、以下の改善点と効果が得られた。
 - 印象探得に伴う患者の身体的な負担が軽減した。
 - かぶせものの作製に関わる医療従事者の時間的な制約が短縮され、作業の効率が向上した。
 - 患者の口腔内情報をより長期的に安定したデータで管理することができ、診療の効率と精度の向上が得られた。
 - かぶせものの作製に関連する、様々な医療廃棄物が大幅に減少した。



効果・成果